

## 「ドコモ ケータイリサイクル」が「第34回地球環境大賞 総務大臣賞」を受賞

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、1998 年から取り組んできた「ドコモ ケータイリサイクル<sup>※1</sup>」の活動が評価され、本日、「第34回地球環境大賞<sup>※2</sup>」において「総務大臣賞」を受賞しました。本受賞は、1998 年から継続している携帯電話の回収や再資源化の取り組みを通じて、循環型社会の実現や環境意識の醸成に寄与した点が高く評価されたものです。

**第34回**  
**地球環境大賞**  
**Since 1992**



ドコモは、使用されなくなった携帯電話（スマートフォン、タブレット、フィーチャーフォン）を全国のドコモショップおよび d garden において無料で回収しています<sup>※3</sup>。回収した携帯電話は、分別・分解・精錬などのリサイクル工程を経て再資源化され、家電製品などの素材として再利用されています。

また、リサイクル活動の認知拡大や回収促進、環境教育を目的に、子ども向けの体験型プログラム「スマホ分解チャレンジ！<sup>※4</sup>」の実施や「サマコンフェス 2025<sup>※5</sup>」などのイベント展示にも積極的に取り組んでいます。

さらに、2025年9月には、お客さまから回収した SIM カード枠をリサイクル素材として 100%使用したスマートフォン用ケース「エコハードケース」を発売しました。大阪・関西万博で行われた経済産業省主催「サーキュラーエコノミー研究所」において「エコハードケース」を展示するとともに「ドコモ ケータイリサイクル」の取り組みを紹介し、多くの来場者にサーキュラーエコノミーへの理解を深めていただく機会を創出しました<sup>※6</sup>。



ケータイリサイクルの分解工程



子ども向け体験型プログラム  
「スマホ分解チャレンジ！」



SIM カード枠と「エコハードケース」



「サーキュラーエコノミー研究所」での展示

ドコモは、今後も商品・サービスの調達から廃棄に至るまでのライフサイクル全体を通じて資源を有効利用し、「ドコモ ケータリサイクル」をはじめとするサーキュラーエコノミーの取り組みを推進することで、社会全体の持続的な発展と地球環境保全に貢献してまいります。

※1 「ドコモ ケータリサイクル」について、詳細は「[ドコモのホームページ](#)」でご確認ください。

※2 「地球環境大賞」は、1992年に創設された「産業の発展と地球環境との共生」を目的とする顕彰制度です。地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する先進的な技術や活動を行う企業・団体を表彰しています。詳しくは、こちらのページをご確認ください。

<https://www.sankei-award.jp/eco/>

※3 法人企業や自治体からは、WEB集荷システムからお申し込みいただき回収しています。詳しくは、こちらのページをご確認ください。

<https://pickup.docomo-recycle.jp/customer>

※4 「スマホ分解 チャレンジ！」の様子は、こちらのページをご確認ください。

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/anatatodocomo/docomoeveryday/article130/>

※5 「サマコンフェス 2025」での展示の様子は、こちらのページをご確認ください。

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/anatatodocomo/docomoeveryday/article162/>

※6 「エコハードケース」や大阪・関西万博での展示の様子は、こちらのページをご確認ください。

<https://www.docomo.ne.jp/corporate/anatatodocomo/docomoeveryday/article178/>

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ  
経営企画部 サステナビリティ推進室  
ML : [s-promotion@ml.nttdocomo.com](mailto:s-promotion@ml.nttdocomo.com)